

# 萩市観光協会公式ホームページ (WEB サイト)アクセス分析【令和3年度】

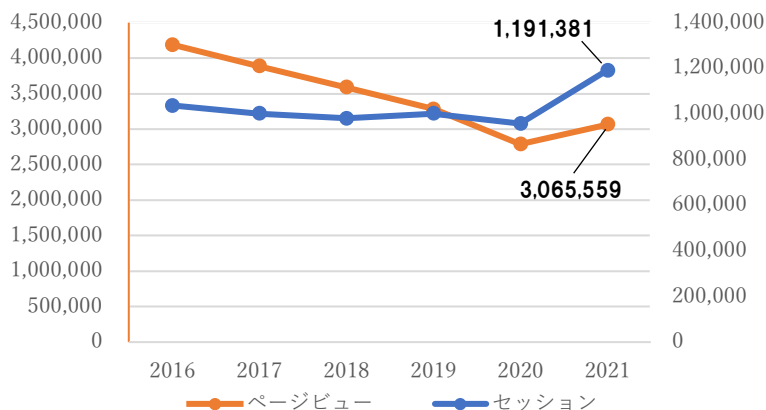
一般社団法人萩市観光協会  
DMO 事業マーケティング責任者 上利寿博  
観光企画係長 江川麻美

萩市観光協会公式 WEB サイトの昨年度の閲覧状況からアクセス解析を行いました。

## 1. ページ閲覧数(ページビュー数)と訪問者数(セッション)

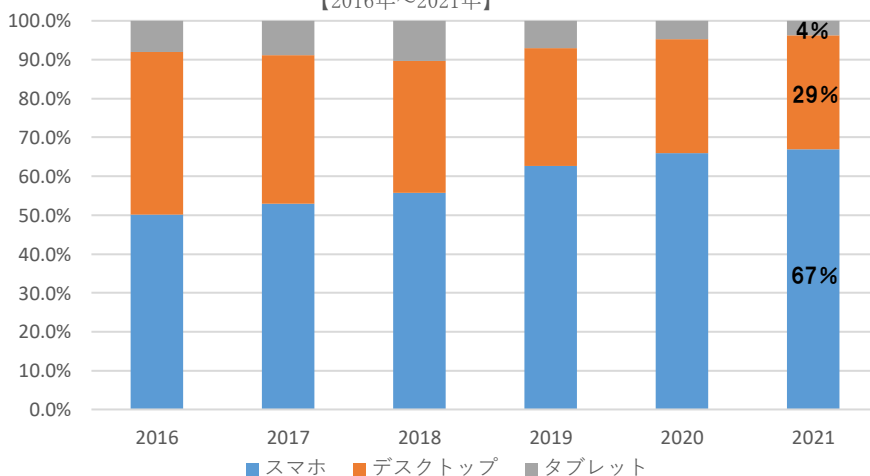
右の折れ線グラフは、サイト訪問者数(青い折れ線)とページ閲覧数(オレンジの折れ線)の推移を表しています。サイト訪問者数は昨年度 1,191,381 人(対前年比 24.4%の増)、ページ閲覧数は昨年度 3,065,559 ページ(対前年比 9.9%の増)でした。いずれも前年度を大きく上回り、特に訪問者数においては、2015 年の大河ドラマ「花燃ゆ」・世界遺産登録を上回り、過去 5 年で最も多くなりました。新型コロナウイルス感染症による巣ごもりが長期化し、そのストレスから「観光に行きたい」という潜在意識が増加していると考えられます。

HPアクセスについて(セッションとページビューの比較)  
【2016年～2021年】



## 2. 閲覧数が使用するデバイスは今や「スマホ一強」

使用デバイスの割合(スマホ・デスクトップ・タブレット)  
【2016年～2021年】



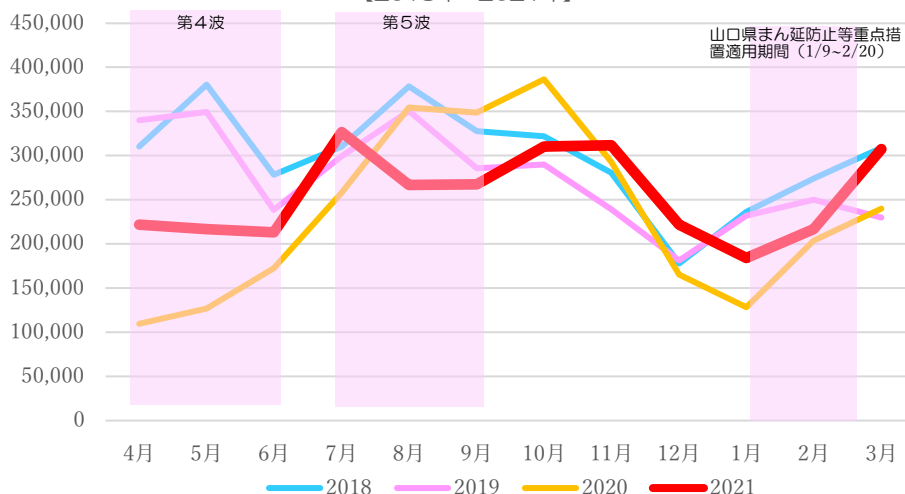
左の棒グラフは公式 WEB サイトの閲覧者が使用する電子機器端末(デバイス)の割合を示したものです。青色がいわゆる「スマホ」による閲覧で、年々増加しており、昨年は 67%となり、3人に2人はスマホから閲覧していることが分かります。反対に、デスクトップパソコンやタブレット端末からの閲覧は、若干ではありますが減少傾向にあります。

一昨年4月に当サイトをリニューアルし、スマホからも見やすいページに自動で切り替わる、「完全レスポンス対応」にしたことは大変有効だったと考えられます。

## 3. アフターコロナに向けて

右の折れ線グラフは、過去5か年の月別で見たページ閲覧数の推移で、赤色が昨年度です。ご覧のとおり、新型コロナウイルス感染症の第4波、第5波、山口県へのまん延防止等重点措置適用等の影響により波はあるものの、ホームページの閲覧状況はコロナ前の状況に回復傾向が見られます。今後、コロナ収束となった後の観光誘客に向けて、観光客受入体制の準備や効果的なキャンペーン等が必要と思われれます。

月別ページビュー数の比較  
【2018年～2021年】



## 4. 閲覧者属性の変化 -地域内観光の伸び-

	2013		2014		2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021	
【都道府県別】 上位6県 <small>※数字は、日本からのアクセス数の中での割合</small>	東京都	22%	東京都	22%	大阪府	21%	大阪府	26%	大阪府	26%	大阪府	25%	大阪府	23%	山口県	28%	山口県	27%
	大阪府	14%	大阪府	14%	東京都	16%	東京都	16%	山口県	17%	東京都	18%	山口県	20%	大阪府	21%	大阪府	18%
	山口県	13%	山口県	13%	山口県	13%	山口県	16%	東京都	17%	山口県	17%	東京都	17%	東京都	12%	東京都	12%
	福岡県	11%	福岡県	11%	福岡県	9%	福岡県	8%	福岡県	6%	神奈川県	6%	福岡県	8%	神奈川県	9%	神奈川県	9%
	広島県	5%	広島県	5%	広島県	6%	神奈川県	6%	神奈川県	6%	福岡県	6%	神奈川県	6%	福岡県	6%	福岡県	8%
	神奈川県	4%	神奈川県	4%	神奈川県	5%	広島県	4%	広島県	4%	広島県	4%	広島県	5%	広島県	6%	広島県	5%
海外からの アクセス件数	6,174		10,942		20,339		20,489		20,921		20,107		20,324		11,723		11,524	
【国別】 上位6か国 <small>※数字は、日本以外の国からのアクセス数の中での割合</small>	米国	30%	米国	23%	米国	38%	米国	21%	米国	20%	米国	28%	米国	27%	米国	34%	米国	33%
	台湾	12%	台湾	15%	台湾	16%	台湾	18%	台湾	19%	台湾	14%	韓国	9%	中国	12%	中国	11%
	韓国	10%	香港	9%	香港	10%	香港	11%	韓国	11%	韓国	10%	台湾	7%	韓国	8%	韓国	6%
	中国	5%	韓国	7%	韓国	6%	韓国	8%	香港	10%	香港	9%	香港	6%	台湾	7%	台湾	5%
	香港	4%	中国	5%	中国	3%	イギリス	4%	中国	4%	中国	5%	中国	5%	フランス	5%	フランス	5%
	オーストラリア	3%	ブラジル	4%	オーストラリア	3%	中国	3%	オーストラリア	3%	フランス	3%	イギリス	3%	香港	4%	香港	3%

上の表は、過去8か年のホームページ閲覧者の居住地です。上段が国内の閲覧者の都道府県別上位6県、下段が海外閲覧者の国別上位6か国の統計です。国内のアクセス状況では、一昨年に引き続き、山口県が1位となりました。また、若干ではありますが福岡県が伸びてきています。要因はやはり「新型コロナウイルス感染症」の影響と思われる。

特に大都市圏では、相次ぐ緊急事態宣言等による旅行需要がなかったこと、また、全国的なまん延防止等重点措置の適用により大移動を伴わない**近隣観光の需要が伸びた**（というか需要があまり減らなかったという方が正しいか）ことが要因と思われます。

海外からのアクセス状況は、昨年からはほぼ横ばいで、トップは変わらずアメリカ、2位以下の中国、韓国、台湾、フランス、香港も変わりありません。

コロナ禍で渡航に制限がある中、これまで上位を占めてきたアメリカ、韓国、台湾、香港に加え、一昨年ランクインした海外旅行ニーズの高い中国や文化的に旅行好きな国民性であるフランスなどが、引き続きアフターコロナに向けて関心が高く、一昨年同様となったのではないかと考えます。

いずれにしろ、インバウンド旅行関係者の調査でも、コロナ収束後の旅行先候補に「日本」を選ばれる外国人が多いということからも、今後の外国人旅行客の増加は期待できるものと思います。当協会も、萩市の観光課等と連携しながら、情報多言語化やWi-Fi、各種施設の洋式化などの環境整備と、外国人も楽しめる体験等のプログラムづくり、おもてなしの向上など観光最前線で頑張っておられる事業者の皆さまとともに進めて参りたいと思います。

## 5. さいごに

萩市観光協会公式WEBサイトは、萩の観光ポータルサイト、萩の情報発信源として、今後も全世界に萩を発信して参ります。今回、ホームページの閲覧状況から、現状や未来予測について考えてみました。少しでもご参考になれば幸いです。今後も、こういった分析結果等を会員の皆さまと情報共有していきたいと思っております。

新年度に入り、徐々にではありますが、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せてきており、国内の移動制限もなくなりました。また、2022年6月10日から条件付きではありますが、外国人観光客の受け入れが2年2か月ぶりに再開されました。

予断を許されない状況ではありますが、「アフターコロナ」という言葉が現実味を帯びてきました。

今後、多くの観光客をお迎えできるよう、また、来られた方に1人も残すことなく、笑顔と感動を与えることができるよう、萩らしい観光地づくりを共に進めて行きましょう。